

## 平成 29 年度 第 4 回 社会教育委員会会議録

開催日時 平成 29 年 11 月 28 日 (火) 午後 2 時 00 分～

開催場所 恵那市役所 4 A 会議室

出席委員	委員長	近藤 慎平	
	副委員長	林 達夫	
	委員	鈴木 敏史	
	委員	磯部 彰	
	委員	山田 恵市	
	委員	遠藤 茂樹	
	委員	近藤 修次	
	委員	宮地 茂嘉	
	委員	森川 伸江	
	委員	松村 通男	
	委員	田口 容子	
	委員	加藤 稚奈子	(敬称略)

説明のため出席した社会教育委員会事務局等

教育長	大畑 雅幸
生涯学習課長	伊藤 英晃
まちづくりセンター社会教育指導員	遠藤 滋
生涯学習課係長	三浦 和彦
生涯学習課総括主査	平林 範子

議 題

1. 平成 29 年度各課の主要事業・行事予定・施設の利用状況について
2. 平成 29 年度東濃地区社会教育振興協議会研修会 (報告)
3. 第 9 回岐阜県社会教育推進大会 (報告)
4. 第 48 回東海北陸社会教育研究大会 (報告)
5. 平成 29 年度東濃地区社会教育振興大会 (報告)
6. 視察: 明智コミュニティセンター 乳幼児期家庭教育学級「子連れ防災」(報告)  
二葉こども園「保育参観研究会公開保育」について (報告)

その他

教育長あいさつ

青少年の当たり前の基準について、物事が便利になってきているため、放って

おけばどんどん楽な方へ流されがちです。先日恵那市が加盟している鷗鳴協議会（地域の先人の教えや生き方を人づくりや町づくりに活かしていこうというものです。自治体のサミットのようなものです。）で毎年各地をローテーションで回ります。今年は福岡県の日田市へ行きましたが、そこの先人が広瀬単淡窓という江戸時代の儒学者ですが、日本で最初に私塾を開設し、武士も農民も関係なく能力のある者が集まり多くの方が学びました。その塾の名が咸宜塾（かいぎじゅく）といい、現在もその名残から咸宜小学校という名の小学校があります。そこの体育館で大会がありましたが、セレモニーが40分程ある間、大会の出席者が全員椅子に座っているなか、広瀬淡窓の詩を朗読した6年生の児童全員の体育館の床に正座をしていました。私の席からその様子がよく見えてましたが、児童を床の上で正座をさせることに驚き、校長先生に大丈夫ですかとお伺いしたところ、「大丈夫です。学校の全校集会も正座です。」と答えられました。ここの小学校はずっとそうです。この辺りの校区の保護者もそれを誇りに思っているとのことでした。しかも子ども達は号令とともにさっと行動する。普通なら足がしびれて動けないのではないかと思います。本当に素晴らしい。掃除の様子も見せていただきましたが、正座をし、礼に始まり礼に終わる。そして掃除はもくもくとする。咸宜小学校の生徒や校区の人達は、それが当たり前の基準だということです。毎年全国学力学習状況調査のその上位に福井県がきます。なぜ、上位にくるのかということをよく観察すると、やはり当たり前の基準が違うのではないかと思います。入学したときからの家庭学習の習慣が違うように思います。これは子どもだけでなく、家族ぐるみで取り組んでいる。小学校1年生の漢字ドリルや計算ドリルの一晩で取り組む量が違う。その家庭学習の量をやりきってくる。翌朝には、当番の子が机の上に提出する。先生は休み時間などに全て確認し、帰りには全て児童に返す。結果上位学力につながる。日々の当たり前の基準が違うということだと思います。これを恵那市の子どもたちに置き換えてみると、土曜日に学習発表会のようなことを各小学校でやっていただいています。地域のご年配の方も参観していただき大変ありがたく思います。子どもたちは一生懸命練習して発表していますが、少し厳しい言い方をするともう少しやりきらせたいという思いです。限りある練習時間のなかで、当然不十分な部分もありますが、地域の方々は温かく見守ってくださる。そこでも当たり前の基準で足りないと思う側と、子どものやることから、このぐらいであろうという温度差がある。是非社会教育委員さんのみなさんには少し厳しいぐらいの目でみていただければと思います。

委員長　小学生が人を殺す体験をしてみたかったというニュースを聞いて大変ショックでした。今の日本人の倫理観はどうなっているのかと思います。大人も含め日本の将来は大丈夫なのか。教育長が言われたように孫が鹿児島での教育を体験しましたが、正座や言葉遣いなどは本当に素晴らしい。それでも不登校などはそんなにない。厳しくても大丈夫ということもある。その土地の風習や風土もありま

すが、何とか恵那市の教育的風土を構築できると良いと思います。手始めに私たちが取り組んでいる家庭教育をしっかりと考えていきたいと思います。

議題1 平成29年度各課の主要事業・行事予定・施設の利用状況について  
生涯学習課長説明

副委員長

生涯学習まちづくりの件ですが、社会教育のいろいろな研修の実践発表から、町の中心がしっかりしているところは、いろんな層の人が集まりすべてのことをうまく展開している。恵那市も組織がしっかりしている地区とそうでない地区があると思います。折角、塾長と主事とコミュニティセンター長、地域には推進協議会長がいるわけですが、地域のまちづくりをするとき、誰が中心なのかということをはっきりしないと組織化されないと思います。また活発化もされないと思います。

塾長会議などで、上手くいっている地域のことを教えあったりするといいいのではないのでしょうか。または協議会の会長会議などで上手く教えあったりし、どの地区も交流をすることによって、しっかりとした町づくりを進めるべきだと思います。

生涯学習課長

コミュニティセンターと振興事務所を一体的にしたことにより、いろいろな課題は聞いています。塾長会議、主事会で、課題の収集に努め、振興事務所とも連携をとっていきたいと思います。また、人材の確保の時期がきていますので、今後ご意見をいただければと思います。

副委員長

誰か組織の中心になり、マネージメントをしていくかということを確認するといいいと思います。

委員長

時間的に難しいかもしれませんが、課題を一括できないようであれば、例えば笠周地区だけ、恵南だけの単位で塾長会議をするというのはどうでしょうか。そこで講座などについても意見を交換し課題解決に繋がればと思います。

中央公民館 社会教育指導員

それは、可能です。

生涯学習課長

実務できなところで主事会は、状況に応じて断続的に課題解決について連携がとれています。塾長会議についても今後検討していきたいと思います。

委員長

その他はよろしかったですか

委員

クリスタルパークについて天使の羽を武並町のお祭りの前に SNS で拡散し、私にも拡散依頼があったので、小学校の同窓会のラインでお知らせしたところ反響があった。皆さんも一度天使の羽の前でとってみてください。楽しいですし、撮ったものを、また広めていただけるといいと思います。実際クリスタルパークの入場者数に反映されています。頑張ってみえるので、情報の発信は大切だと思います。年間行事には、入ってなかったが、素晴らしい。

## 議題 2 平成 29 年度東濃地区社会教育振興協議会研修会（報告）

### 生涯学習係

この研修は、8月22日に土岐市で開催されました。研修の趣旨は資料3ページにあります「東濃地区の社会教育委員および公民館館長、主事、社会教育関係者が一堂に会し、委員の任務や活動のあり方を研修する。」ものとなっています。

参加された方いかがでしたでしょうか。

### 委員

講話については、どの研修もそうですが参加してよかったと社会教育について再認識をします。今回の研修で印象的な言葉として「ないもねだり」ではなく「あるものいかし」という言葉で、新しいことをするのではなく今ある事業を見直すということも大切だと思いました。ここでしている家庭教育も今一度、みんなで確認し取り組めると良いと思います。

### 委員

学校という立場で考えると、公民館は公民館で色々な活動をされていると実感しましたが、

公民館活動は地域の方が中心になって取り組んでいる。学校とのつながりというところがなかなか進まない。学校として参加しているわけではないが、いざこういう公民館活動があるからどうだろうと紹介するにしてもスポ少などに参加している。一生懸命していただいているのに、なかなか末端まで情報がおりにこないというところを感じました。先程の PR ではないですが、そのあたりがうまくいくといいのではないかと思います。

## 議題 3 平成 29 年度東濃地区社会教育振興協議会研修会（報告）

### 生涯学習係

この大会の趣旨は、「住民主体の地域づくりを目指し、住民相互の絆を深めるために社会教育に携わる者としていかにあるべきかを追求し研究協議を行う。」とあります。参加された方いかがでしょうか。

### 委員

どの大会も地域がしっかり子どもたちを巻き込んで取り組んでいくことによって、地域が盛り上がっていく。分科会でも、根本は「地域」「子ども」だがそれをどのように結びつけていくかということになると、地域の実情により、一言では解決できない。そのためにこういう研修をとおして、皆で考えるということだと思います。

#### 議題4 第48回東海北陸社会教育研究大会（報告）

##### 生涯学習係

この大会の主旨は、「東海北陸6県1市の社会教育関係者が実践発表や情報交換を通して家庭教育の充実や地域づくりの推進など社会の教育力の向上を目指す。」ため開催されました。参加された方いかがでしたでしょうか

##### 委員

講演のなかに「オノマトペ」言葉についてお話がありましたが、こども園で指導をするときに「オノマトペ」言葉を使うと子どもの心に響くと伝えていきます。富山市の美術館に設置されている遊具についても「つるつる」とか「にゆるにゆる」とかそういうところに目をつけているところが、大変素晴らしいと感じました。分科会は「家庭教育支援」は参加しましたが、どこも「地域」と「子ども」をいかに活かした取組をするかということに力を入れて見えます。8月の研修での「ないものねだり」ではなく「あるものいかし」ということで考えるなら、中野方の「まめくら」は地域性もあり、地域づくりとして成功しているひとつではないかと思います。これをPRし、交流して広げていけると良いのではないのでしょうか。長島のこども園も指定管理の話が出ていますが、いきいき教室の行事があるときに様子を見学に行ったところ、高齢者の方が、子どもたちをはぐくんでいる姿が、こういう目で子どもをみてもらえたら素晴らしいと思いました。新たに何かをつくらなくても、連携することでよい取り組みができると感じます。

##### 教育長

教育委員の研修も富山市でこの社会教育の大会の講演も日程にはいっていただけだったので参加しましたので、講演のあと美術館も実際に見学してきました。本当に素晴らしい美術館でした。そのあとガラス館と一体になった図書館、翌日、市内の全校生徒700名以上の中学校の全校集会の様子を参観しました。このぐらい生徒数があると子どもは、鍛えられると感じました。研修の目的は、富山市の教育委員会の施策です。当然比べられない財力もありますが、教育長の考え方が全て一律でなく富山市が周辺地に発信していくというやりかたです。それを勉強したいということと、コミュニティスクールの推進校でもあるので、地域との結びつきを学んできました。

##### 委員

今回の講演と共通して2年ほど前に参加した研修の話のなかで、「公民館というのは三構想である。みんなが気楽に集え、考え、追求できる場所である。」とい

う話しを思い出しました。今回の講話のなかで、富山市の美術館は1階が「だれもが気軽に寄れる」そこが土台になり2階が「活用」3階が「学び」と言われ、よく似ていると思いました。第1回の社会教育委員会の研修の案内のときに教育長さんから「富山の教育の素晴らしさ」をお聞きし、今回参加させていただきましたが、本当に素晴らしかったと思います。

#### 教育長

教育委員会も社会教育委員会もそうですが、いろいろな人の知恵を拾うということが大切だと思います。富山市の図書館は、雑誌（月刊誌）の数も恵那市の10倍以上で、全国各地の雑誌がありました。スポンサーをつけて雑誌にカバーをつけ、そこに企業の名前をのせたり、業務内容をのせたりしている。1年間12回を企業が受け持つ。民と官が上手くやっていると었습니다。

#### 副委員長

コミュニティセンターもいつ子どもが来ても楽しいというように魅力的にすると親も必然的に集まる。今のコミュニティは大人が講座を受けるだけ、お祭りがあるときに集まるだけ、それでは宝のもちぐされです。お話しされたようにコミュニティセンターが人を集める工夫としては、良いアイデアだと思います。第5分科会に出席しましたが「社会教育委員の役割と課題」に参加しましたが、蒲郡の取り組みで市民憲章が3つあり、沢山あると分からないが、市民憲章は市の目標であるということから、こういう姿になるという将来像は、市民憲章をとおして学校でも小さいときから毎週唱和していると発表があった。沢山並べるより、徹底して取り組むということで、それで、目指すべき姿がはっきりしていますと、それを中心に地域と人がコミュニケーションをとっていると話されました。笠置の辺りも本当に人とのコミュニケーションが昔に比べ希薄になっています。この辺りをどうしたら良いかということを考えることも社会教育委員の一つの役割であると重いました。コミュニケーションを深めるための課題を解決していくことが今後求められていると思います。社会教育委員としても地域へ帰ってどこへどのように、関わっていけばよいかということが明確になってないと思う。地域での受け皿がない。これも課題だと思います。

#### 課題5 平成29年度東濃地区社会教育振興大会（報告）

#### 生涯学習係

この大会の主旨は「東濃地区の社会教育委員、公民館関係者、青少年育成委員、学校関係者、PTA関係者、行政が一堂に会し地域・学校・行政が連携し人とのつながりが人を育て地域を創る地域社会人育成を推進する機会。」として開催されました。参加された方のアンケート結果が資料17ページより掲載されていますので、ご覧ください。この大会につきましても一言いただければと思います。

#### 委員

分科会のところで、学校は何かをするときにその主旨と目的をはっきりさせ、内容を考や方法を考え、どの程度の成果をだすのか。そのためにどのように展開するのかという癖がついてしまっている。社会教育の分科会では、そんなことを言っていたら何もできないと、かといって、昨年までやっていたことを急に止めることもできないということ強く感じました。それを埋めるのは、何かに取り組んだとき、地域の主催者や参加した子どもや学校、PTAなどで振り返る場所があると、事業の精査もできるのではないかと思います。そのような場所があれば、社会教育委員として交わることも可能ではないかと思います。

## 委員

PTAの方から活動をするにあたり、行政のどこへ頼めばよいのかという意見をきいたことがあります。教育委員会や文化センターへ電話したら人材バンクみたいなものがあって紹介してもらえるとこういうになっていると良い。指導者や専門家がわかると活動しやすいと思う。

## 中央公民館 社会教育指導員

この前会議でもでましたし、出前講座の講師もありますが、随分市民のニーズも変わってきています。地域において自治会、まちづくり、三学塾のあたり三位一体でしっかり考えていかなくはなりません。コミュニティスクールを進めようといっている話もありますので、学校へ地域の人がどのように関わっていくのか、それをだれがコーディネートしていくのかということですが。

## 教育長

現在恵那市型のコミュニティスクールということですが、恵那市は小さい学校が多いので中学校区でコミュニティスクール化をしていくことを進めています。今年は恵那北中学校をモデル校として指定し、実践しています。先日県PTA連合会があり、西中校区の発表がありましたので聞いてきました。西中はまだ、コミュニティスクールを指定していませんが、来年指定を予定しています。西中、長島小、三郷小、武並小の4校区でPTA活動を実施していますので、その発表でした。コミュニティスクールを指定する基盤ができており大変良い発表でした。一般的な言葉で言うとコミュニティスクールには必ず役員の方の会議がありますが、これを学校運営協議会と呼んでいます。学校運営協議会は、学校関係者、PTA、地域のリーダーの方などで構成され、人数はそこで決まってきます。そこで校長先生が今年度の重点を伝えます。それに対してご意見をいただき、最終的に承認をしていただき1年の活動をするという流れです。学校協議会の委員の方は、意見も述べますが、協力者でもあります。学校運営協議会の支部もあり、部活指導支部、子どもたちの安心・安全支部、地域の伝統行事指導支部の長の方が集まり学校運営協議会をつくっています。地域の子どもは、地域で育てるという意識のもと学校の教育活動に関わっていただく。北中コミュニティスクールは、簡単なことから始めるということで、ボランティアという言葉を使い、子どもの減少により資源回収ひとつするのにも大変なので、子どものいない家庭も協力して資源

回収をするというようなことです。今までしたことボランティアを募るということから始めました。

中央公民館 社会教育指導員

地域のことで言いますと人材という点では、すでに繋がりができています。それを名簿化すると、もう少し見やすくなるのかと考えています。その辺りを併せて進めていきたいと思います。

教育長

コミュニティスクールについては、国も啓発しています。昨年度よりコミュニティスクール促進事業で 1/3 の補助を受け実施しています。学校運営協議会の委員さんには、小額ですが、委員報酬をお支払しています。

委員長

先生と地域の人材の交流も大切だと思います。

議題6 明智コミュニティセンター 乳幼児期家庭教育学級「子連れ防災」  
二葉こども園「保育参観研究会公開保育」

生涯学習係

第1回の委員会で今年度の活動の方向性を提案させていただきました。その中で現場を参観し地域の現状や課題の情報収集に努めることをお願いし、今回9月に2カ所の視察を実施しました。このことについて、すでに感想をいただいておりますが、その他にご意見がありましたらお願いいたします。

委員長

現地をみることにより、社会教育委員としても学ぶということで、今回実施をしました。アンケート結果からも実施してよかったと思います。みなさんのご意見をいただきたいと思います。

委員

研修会以外で現場に行きたい場合はいけますか

生涯学習係

外部の方が入ることになりますと、幼児教育課をとっていただく必要はあると思います。

委員

二葉こども園は旧の幼稚園であったところなので、一園視察だけでなく、恵南の旧保育園も視察ができると良いと思います。同じ子育てに関わっている者同士なかなか接点がないということなので、いろいろな方向から子育てをみて意見を言い、考える場があり、こども園になってからは家庭教育学級についても取り組んでいるので、同じように考えていければと思います。

委員

明智の乳児期の家庭教育学級はきちんとしたカリキュラムにそって実施して素

晴らしいと思った。他地域との交流をさらに深めるとよいと思いました。本来であれば全ての乳幼児期の家庭教育学級を視察できれば良いが、少しでも視察を多くするという事になれば地域ごとに人数を分けて行ってもよいのではないか。主事さんが頑張ってみるので、第三者が常に良さや、課題を収集すべきだと思います。地域の社会教育委員として意見を言えば、共通の課題認識もできるのではないのでしょうか。

## 委員

恵那市は大井の児童センター、中野の児童センターに、乳幼児学級のようなものがある。恵那市の乳幼児学級は月に1回です。大井の児童センターの1歳児クラスは、週1回の30人定員で、すでにいっぱいです。中野の児童センターもいっぱいに入れていない子もいると聞いています。それに比べ乳幼児期の家庭教育学級は、行政が一生懸命取り組んでいても、情報が届いていません。メンバーが固定化されてくると毎週水曜日は、ここに行くというようになり、こども園などの情報やコミュニケーションもとれる。乳幼児期の家庭教育学級で取り組んでいることを児童センターへおろして頂くと良いと思います。確か旧園は、園のオープン日があると思います。自分の子どもをあずけるにあたり、この園はこうだという様子を見ることが出来る。以前保育園であったところはオープン日がないので、一度も入ったこともなく、行ったこともないところへ我が子を預けるのは抵抗があります。是非、オープン日があればと思います。児童センターがなくなるような話も聞きます。児童センターは、小学生も来るし、中学生もくるし、大人が卓球をするために来たりしています。幅の広い層の人が使っている。2歳の子どもが小学生と遊んだりもしている。大切な場所だと思います。大井に関して言えば駐車場のアスファルトの横の部屋で、クーラーもない。駐車場には遊具があり、大変危険だと思う。それでも人が集まる。

## 委員長

放課後の話も興味があるとありましたので、来年度にむけてそのあたりも検討したいと思います。

## 教育長

是非、学童もみていただければと思います。地域間格差が大きいです。

## 委員長

カリキュラムがあるのかなどいろいろ気になりますので、また勉強させていただきます。主事さんの視察の意見のなかに「委員さんの観点がずれているのではないか」というところがありますが、これが気になりますがこれについて教えていただけますか

## 生涯学習係

おんぶひもが今の時代の人に即していないのではないかということについて、日本の伝統や文化も含め災害時に、いざとなれば一本のひもで簡単に活用できるというところを今のお母さんに伝えたいという思いがあり今回の子連れ防災に活

用しました。そのあたりを委員さんには、お伝えしていませんでしたので、申し訳ありませんでした。

委員長

他にご意見はありますか

委員

「地域でやっていく」ということがよく話題にでますが、何をやっていくのかという情報はどこにいけばあるのでしょうか。大井町のかわら版も自治会に入っていないともらえない。その情報誌を図書館などのおいてあるところにとりに行っています。大井のかわら版は図書館にはおいてないので、地域で何をするといいことを知らない若い人は多い。

生涯学習課長

地域のかわら版などは、コミュニティセンターにはありますので、そちらへ行っていただくということになります。

委員

やはり自治会に加入し、サービスとして情報も配布してもらえるといいです。地域のために加入してもらえるとよい。

委員

自治会には加入してもらえるように勧められるとよいが、アパートなどの大家さんが必ず地元の方とは限らない。子ども会活動にも参加できない。

教育長

子ども会活動は学校としても自治会に加入していない方が半分ぐらいみえる。活動もしくめない。交通安全などの当番を親で組むが、加入している子どもと加入していない子どもに分けることもできないので、一律にみているわけです。

委員

これも社会変化の流れかもしれませんが難しい問題ですね。その他事務局からお願いします。

社会教育係長

今回の社会教育委員会ですが、平成30年1月31日(水)を予定しています。今回も話題にあがりましたコミュニティスクールについて、教育長よりお話をいただきますので、ご出席のほどよろしくお願いします。  
本日はどうもありがとうございました。

午後4時30分閉会

平成29年11月28日(火)

社会教育委員 近藤 慎平

社会教育委員 林 達夫

